

一般会計補正予算

Q 災害復旧部分の既設の水路は個人で造ったものか。

A 水田を宅地造成する際に個人で築造された。

今回の復旧は、水路断面である高さ1・6mを災害復旧事業、上部1・2mを個人負担で行う。

Q 岩戸溪谷遊歩道について測量設計費はこんな

にかかるのか。

A 450万円の枠があり、その定額補助の範囲の中で測量設計と工事費に振り分けた。

Q 地元の方の話は聞いているか。不必要なもの

では困る。メンテナンスもしないといけない。

A 岩戸溪谷の周辺整備は昨年から取組んでいる。地元の方と相談しながら事業を進めていく。

Q 急傾斜地崩壊対策事

業について、他の急傾斜箇所は把握しているか。

A 水防計画書の中で急傾斜崩壊危険箇所として地図に表示し、把握している。

委員会研修報告

期 日

17年11月8日～10日

研修地

石川県金沢市

金沢農業センター

石川県加賀市

加賀沿岸流域下水道

大聖寺川浄化センター

目 的

金沢市農業センター

①水田農業について、後継者不足及び遊休農地解消のため、営農組合を設立し、直播栽培による労力削減、機械の共同利用に取り組んでいる。

②加賀野菜のブランドで、関東向けに加賀レンコン、源助ダイコン、キュウリ、タケノコ、金時草など多くの野菜供給をねらった取組みが行われている。

大聖寺川浄化センター

地球温暖化防止対策の一環として省資源、省エネルギー型下水道システム（下水汚泥から発生する消化ガスを利用したマイクロガスタービン発電システム）設備を導入した。

マイクロガスタービンから発生する電気は、下水処理場の機器に使われ、発生する熱は消化タンクの加温に有効利用されている。

レポート

経 済 建 設

公共下水道特別
会計補正予算

Q テレスコープ弁修繕

箇所は、当初予算で予定していなかったところか。

A 当初予算では予定していなかった。

Q 耐用年数は15年と聞いたと思うが、17年は長



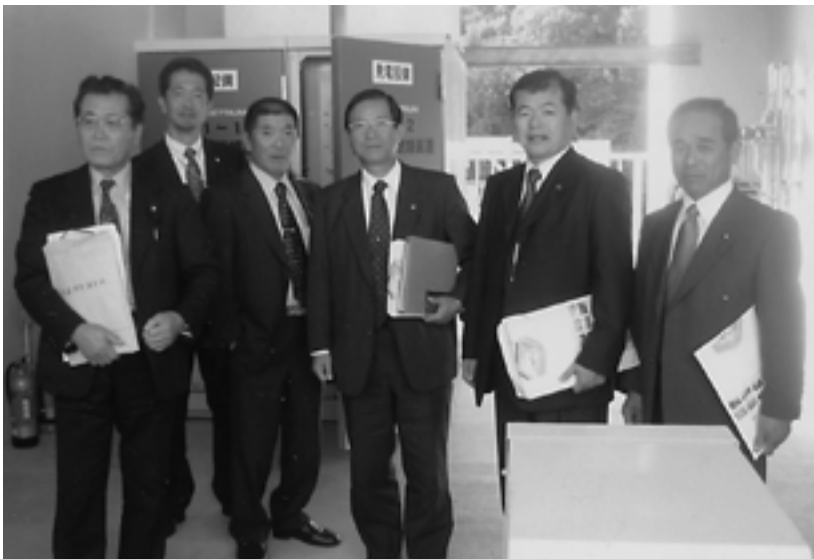
岩戸溪谷遊歩道（奥は駐車場）

くもったということか。

A 耐用年数は15年、供用開始から17年になる。

陳情審査

町道七曲線改修拡張
工事について採択



視察中の委員

- 条例の制定**
- 〈指定管理者の指定
手続等に関する条例〉
- Q 何か特別な委員会設置の考えはあるか。
- A 専門家の第三者を入れた指定管理候補者選定委員会の設置を考えている。
- Q 指定管理者が倒産などで運営が出来ない場合はどうなるのか。
- A 当然指定管理者の責

委員会

総務

任であるが協定書の中で詳細は取り決める。

Q 報告書の提出、庁舎内の組織、保証人、いろいろな問題が発生した場合どうするのか。

A 損害賠償義務条項があり、それに対応する。

町税条例の改正

Q 軽自動車税の納期が4月から5月になった場合収納の影響と農耕用の台数と税額は。

A 現状でも50%以上は5月に収納がある。農耕用は1千3百31台で、1台当り1千6百円で2百万円程度の税額である。

菊池広域連合組織の地方公共団体の数の減少及び規約の変更。

Q 負担金の均等割が25%から10%になり金額でどの程度か。

A 約3百50万円の負担減と試算される。

一般会計補正予算

Q 乗合タクシーの停留所とはどのようなものか。

A 町中心部に十ヶ所程度予定し移動式で路線バスのバス停にある様なもの。

Q 乗合タクシーの携帯電話の使用方法は。

A タクシー業者に持つてもらい利用者が直接電話予約するものでフリーダイヤル方式を検討している。

Q 事業所統計調査は何年ごとか、又事業所は何社あるのか。

A 3年に1回で1千2百事業所である。

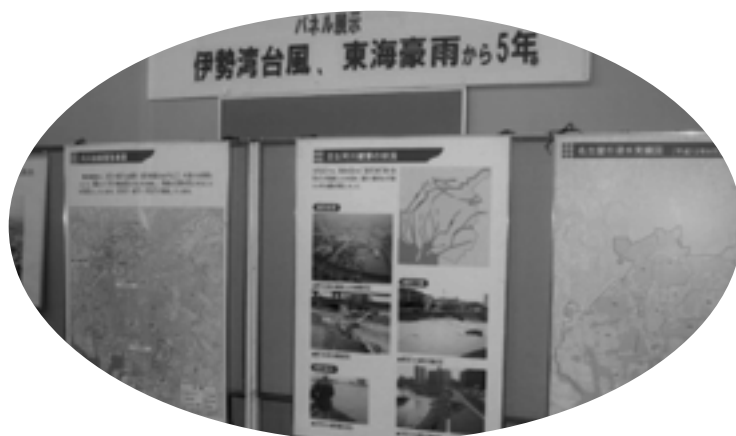
陳情審査

真木地区地域活性化のため路線バスを現在のコースから「中窪田バス停から菊池赤水線の真木を経由し平川真木線を通り平川郵便局前」で迂回する路線への変更陳情は不採択とした。

委員会研修報告

平成17年11月8日(火)から10日(木)まで愛知県一宮市の防災について、岐阜県多治見市の行政と財政について研修した。一宮市では自主防災組織育成のため補助制度として救助用資材等に補助率1/2限度額10万円を一団体当り同年度内に一回の制度があり、出前講座を積極的に実施している。また、耐震性貯水槽の中で飲料水が貯蓄出来る100t水槽2基が整備されている。

多治見市の行財政改革では、グループ制による組織運営導入により担当者からリーダーへ、リーダーから課長となり意志



防災館のパネルの展示

決定の迅速化が図られていた。

平成18年9月から29の施設が指定管理者制度に移行を予定している。期間は上限5年と定め、条例で地方自治法の請負禁止規定を準用している。



防災体験施設の説明を受ける委員

一般会計補正予算

Q 菊阿中学校の統合は地域の理解が得られたと思うが、生徒が大洋中学校に馴染めるような何らかの取り組みをしているか。

A 21名が530名の学校に行くので、生徒・保護者とも不安はあると思う。保護者に於いては、それぞれPTA役員で統合委員会を設置して、情報の交換中。生徒は交流学习を12月20日に実施し、以後何回か取り組む。

文教・厚生

Q 保育園の入所児童数は何人か。

A 定員は90人の5園で450人。ただし、4月は115%、5月からは125%、10月からは園の職員数・床面積等にあつた児童数を入所させることができ、現在630人位である。ま

た、定員増について県に申請を出している。

Q 全国的な動きの中、

子ども達の安全確保のためにスクールバスの利用が論議されているが、大洋町での対応は検討されたか。

A 安全パトロールを実施するなど対応したい。現在のところスクールバスでの通学は検討していない。

Q 水俣市では、プラスチックの収集は、3つに分類されている。また月に一回各地域でコンテナを使い分別回収を実施。各地域には、その後費用の一部の助成がある。大洋町として取り組む考えはないか。

水俣市では、プラスチックの収集は、3つに分類されている。また月に一回各地域でコンテナを使い分別回収を実施。各地域には、その後費用の一部の助成がある。大洋町として取り組む考えはないか。

A ごみ量・プラスチック類も量的に増えており

新年度で考えていきたい。

環境美化推進委員や区長会でも分別の徹底をお願いする。地域のPTAや子ども会等活動団体を拡充したい。

Q 旧西部清掃工場及び旧し尿処理場の施設の解体費用は。

A 18・19年度実施予定で、し尿処理場が1億8千900万円、西部清掃が2億7千200万円、合計額は約4億6千100万円である。大洋町の負担額は、1億3千100万円である。

国民健康保険
特別会計補正予算

Q 1億2千万円の補正

と、5千万円の予備費の取り崩しで歳出の不足額は実質1億7千万円になる。また、基金から3千万円を繰り入れ、基金残高は528万円になる。

A 大洋町の基金残高は

熊本市の0円について下から2番目である。厳しい状況の中で運営していかなければならない。

Q 医療費抑制のための取り組みは。

A 保健師等により多受診者の訪問指導や、ミニデイ等での健康診断等を実施し早期発見するとともに事前の指導を行う。

介護保険
特別会計補正予算

Q 介護認定者は介護度別にそれぞれ何人いるか。

A 要支援が143人、要介護1が249人、要介護2が149人、要介護3が131人、要介護4が98人、要介護5が104人、合計874人である。

委員会研修報告

11月14～16日 石川県小松市・金沢市



視察中の委員

小松市

健康セン

ターの運営に

ついて「小松

市すこやかセ

ンター」を研修。

いきいき健康課より

「すこやか小松21」を策

定し栄養食生活や身体活

動・運動・休養・こころ

の健康など、7つのプラ

ンに従って10年後の小松

市民の健康づくりを目指

して取り組む。

生活習慣病予防のため

の生活指導、校区毎の健

康ボランティアの養成、

小松健脚体操の普及、元

気ロードマップ等健康増

進への活動拠点としてセ

ンターが活用されている。

金沢市

小中一貫教育及び特色

のある教育の推進につい

て「学校教育金沢モデル」

を研修。

①学校2学期制

②小中一貫英語教育

③学習指導基準金沢スタン

ダードに基づく授業実践

④中学校学校選択制

世界都市金沢の未来を

担う子ども達に、教育の

充実と質の向上を図り取

組みの成果が出ている。